

小児（0～9歳）医療費 に関する分析

資料上の留意点

1. 1人当たり医療費を構成する3要素について

1人当たり 医療費	=	受診率	一定期間に医療機関にかかった人の割合（レプト件数÷人数）
	×	1件当たり日数	1つの疾病治療のために医療機関にかかった日数 （診療実日数÷レプト件数）
	×	1日当たり医療	1日当たりかかった医療費（医療費÷診療実日数）

2. 傷病別の医療費分析について

複数の傷病コードが付されているレセプト情報は、各レセプトについて「主傷病」を特定し集計する。

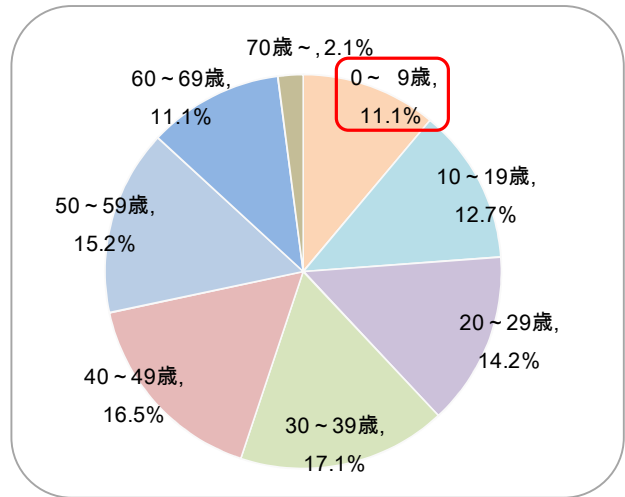
主傷病であることを表すコードがある場合はその傷病を、無い場合は記載されている順番の早い傷病を主傷病とする。

I 平成23年度 医療費の状況

1. 山梨支部 年齢階級別加入者数

	加入者数	構成割合	増加率	増加数
総数	236,350		1.4%	3,305
0～9歳	26,203	11.1%	▲ 0.3%	▲ 71
10～19歳	30,110	12.7%	1.3%	381
20～29歳	33,532	14.2%	0.6%	195
30～39歳	40,452	17.1%	▲ 1.7%	▲ 687
40～49歳	39,093	16.5%	5.8%	2,160
50～59歳	35,874	15.2%	▲ 2.7%	▲ 994
60～69歳	26,213	11.1%	9.2%	2,200
70歳～	4,873	2.1%	2.5%	120

※ 加入者数は平成23年度の平均
 ※ 増加率、増加額は対平成21年平均



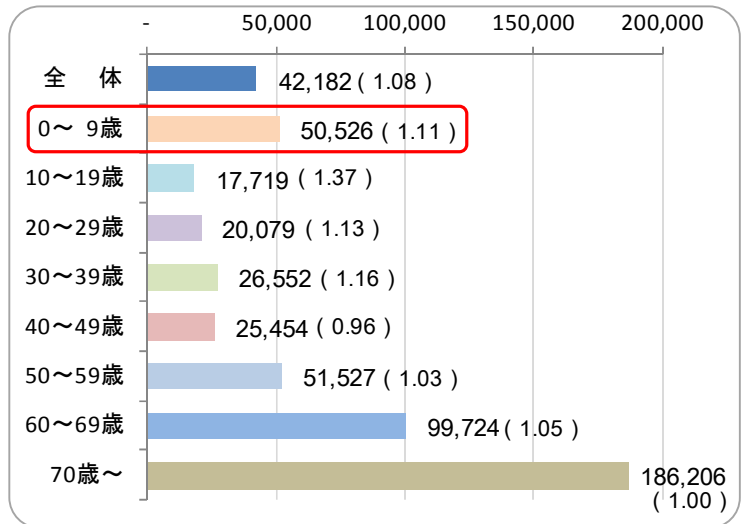
2. 平成23年度 年齢階級別医療費

(1) 入院

	総医療費 (億円)	構成割合	一人当たり医療費	増加率
全体	99.7		42,182	7.9%
0～9歳	13.2	13.3%	50,526	10.8%
10～19歳	5.3	5.4%	17,719	37.1%
20～29歳	6.7	6.8%	20,079	12.7%
30～39歳	10.7	10.8%	26,552	16.0%
40～49歳	10.0	10.0%	25,454	▲ 4.0%
50～59歳	18.5	18.5%	51,527	2.5%
60～69歳	26.1	26.2%	99,724	5.1%
70歳～	9.1	9.1%	186,206	0.2%

※ 増加率、増加額は対平成21年平均

・ 1人当たり医療費 (円) ()内は対平成21年度の指数

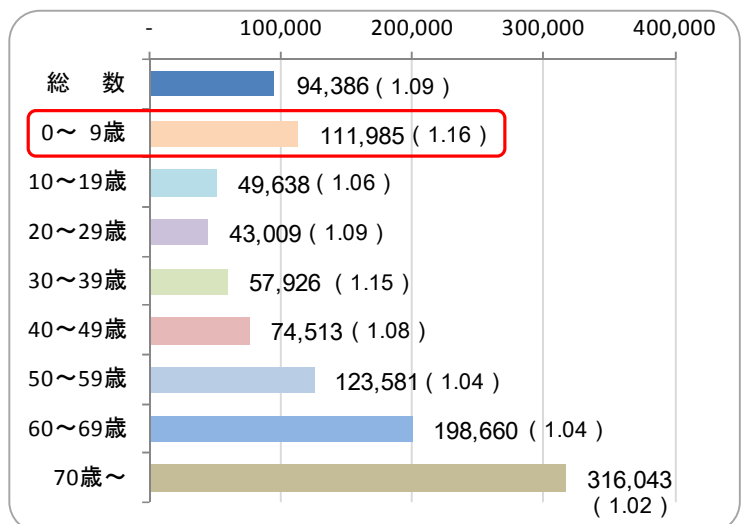


(2) 入院外

	総医療費 (億円)	構成割合	一人当たり医療費	増加率
総数	223.1		94,386	8.5%
0～9歳	29.3	13.2%	111,985	15.5%
10～19歳	14.9	6.7%	49,638	5.6%
20～29歳	14.4	6.5%	43,009	8.7%
30～39歳	23.4	10.5%	57,926	15.3%
40～49歳	29.1	13.1%	74,513	8.4%
50～59歳	44.3	19.9%	123,581	4.5%
60～69歳	52.1	23.3%	198,660	4.5%
70歳～	15.4	6.9%	316,043	2.0%

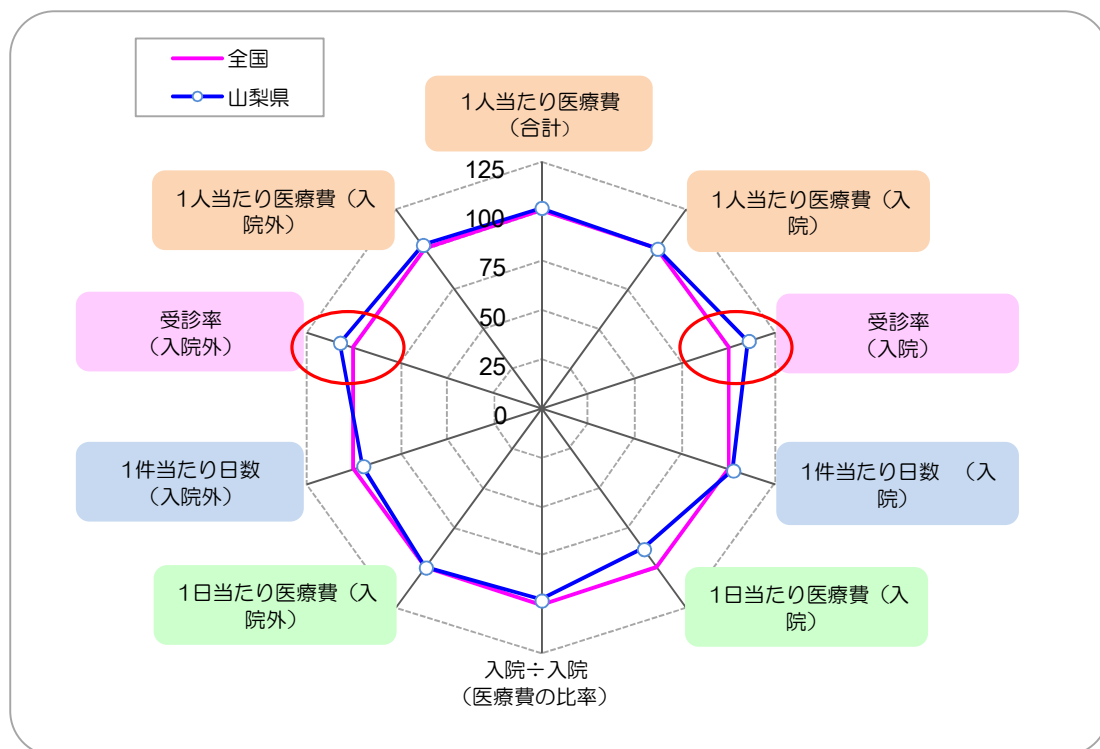
※ 増加率、増加額は対平成21年平均

・ 1人当たり医療費 (円) ()内は対平成21年度の指数



I 平成 23 年度 医療費の状況

3. 0～9歳 医療費のレーダーチャート



全傷病	1人あたり医療費（円/人）			山梨の順位
	山梨	全国	比率	
全体	162,511	159,706	1.02	-
入院	50,526	50,471	1.00	20
入院外	111,985	109,235	1.03	19

全傷病	受診率（件/千人）			山梨の順位
	山梨	全国	比率	
入院	145.75	131.75	1.11	13
入院外	9,909.63	9,205.96	1.08	8

全傷病	1件あたり日数（日/件）			山梨の順位
	山梨	全国	比率	
入院	7.04	6.88	1.02	16
入院外	1.57	1.65	0.95	38

全傷病	1日あたり医療費（円/日）			山梨の順位
	山梨	全国	比率	
入院	49,222	55,647	0.88	42
入院外	7,188	7,189	1.00	21

※ 順位は値の高い順

データ：統計システムより算定ベースで集計
年次：平成23年度計（4～3月）

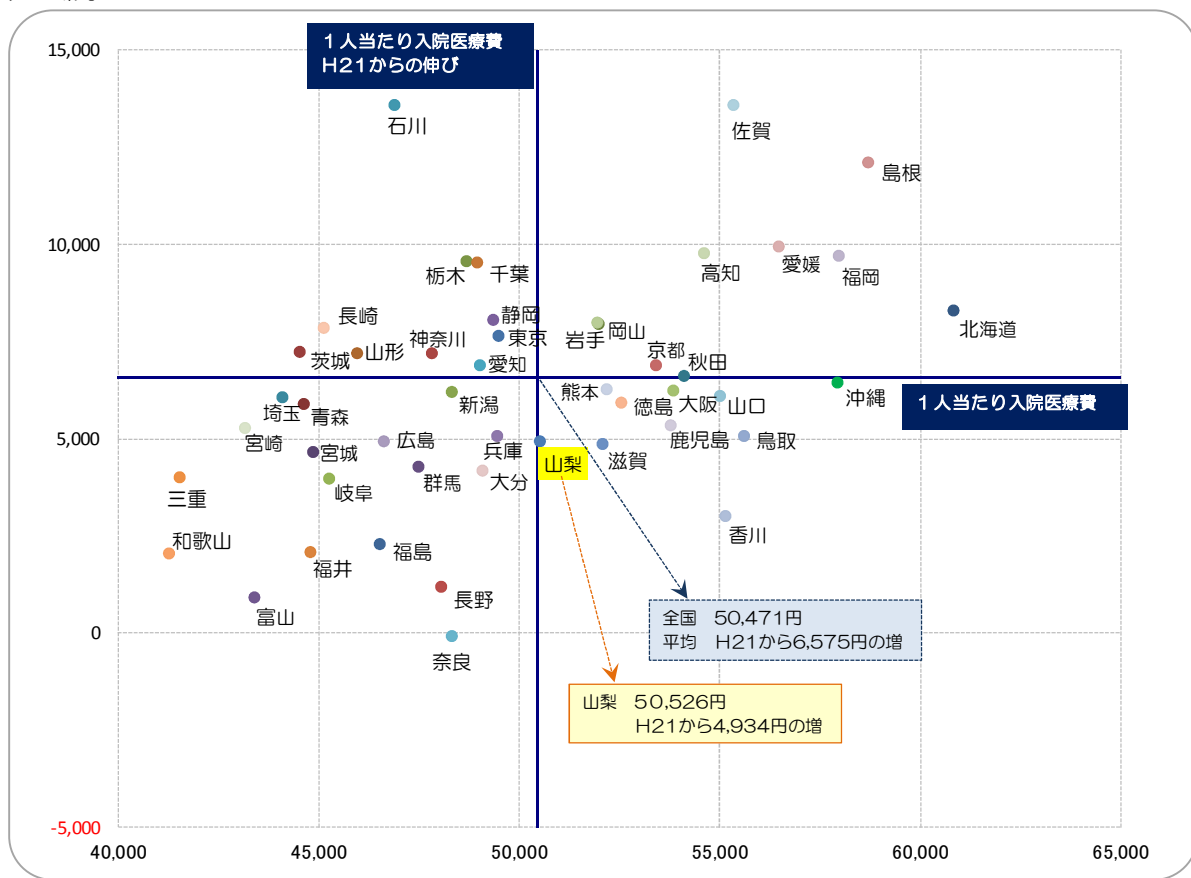
全国平均との比較

- ・入院 1人あたり医療費は全国平均並みである。内訳をみると、受診率が全国の約1.1倍と高いが、1日あたり医療費が約0.9倍と低くなっている。
- ・入院外 1人あたり医療費は全国平均よりも若干高い。内訳をみると、受診率が全国の約1.1倍と高いが、1件あたり日数が約0.95倍と低くなっている。

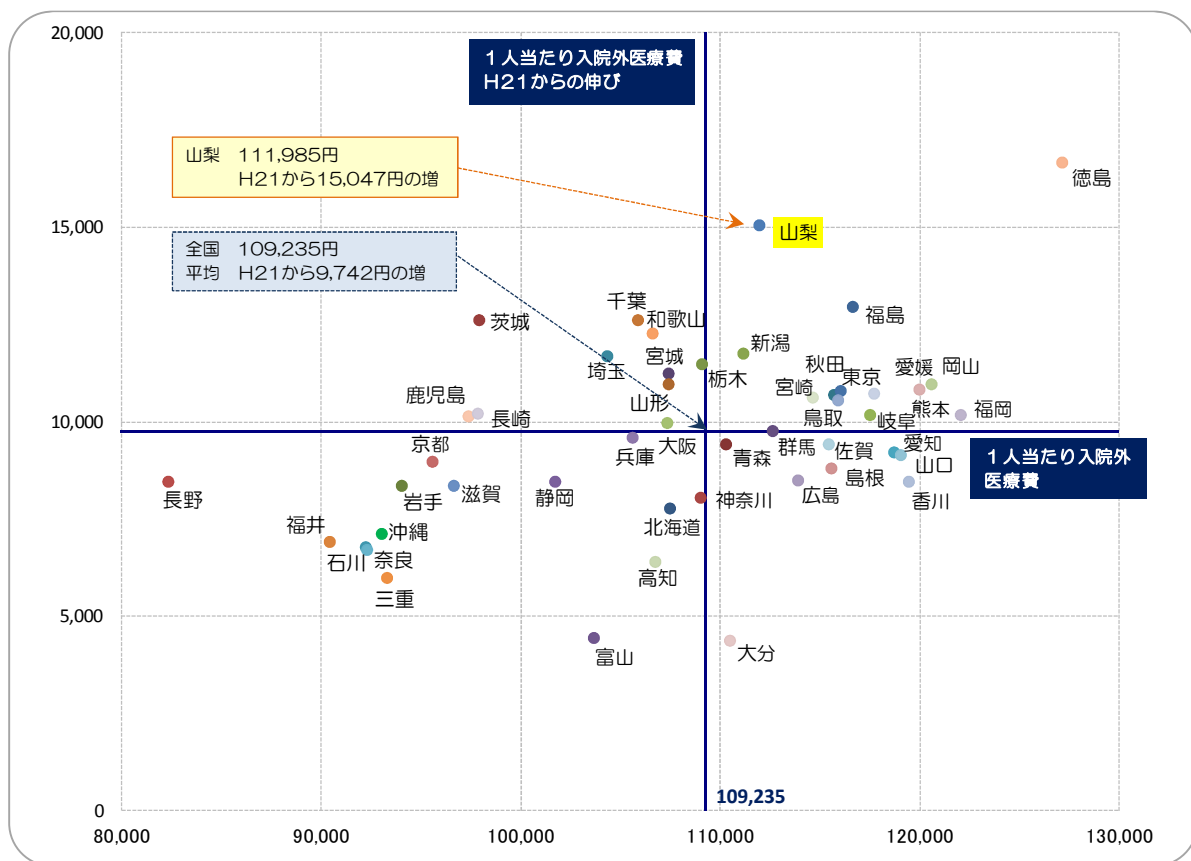
I 平成 23 年度 医療費の状況

4. 0～9歳 1人当たり医療費とH21年度からの伸び

(1) 入院



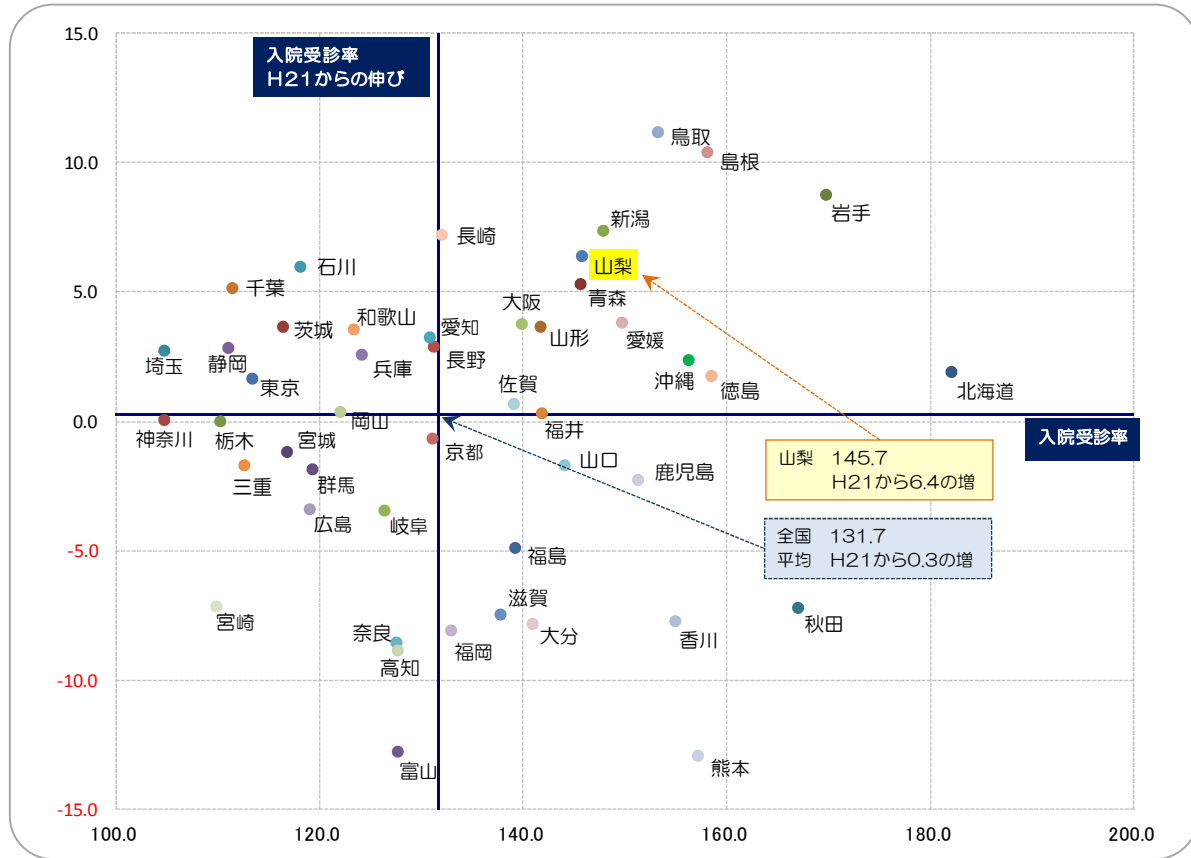
(2) 入院外



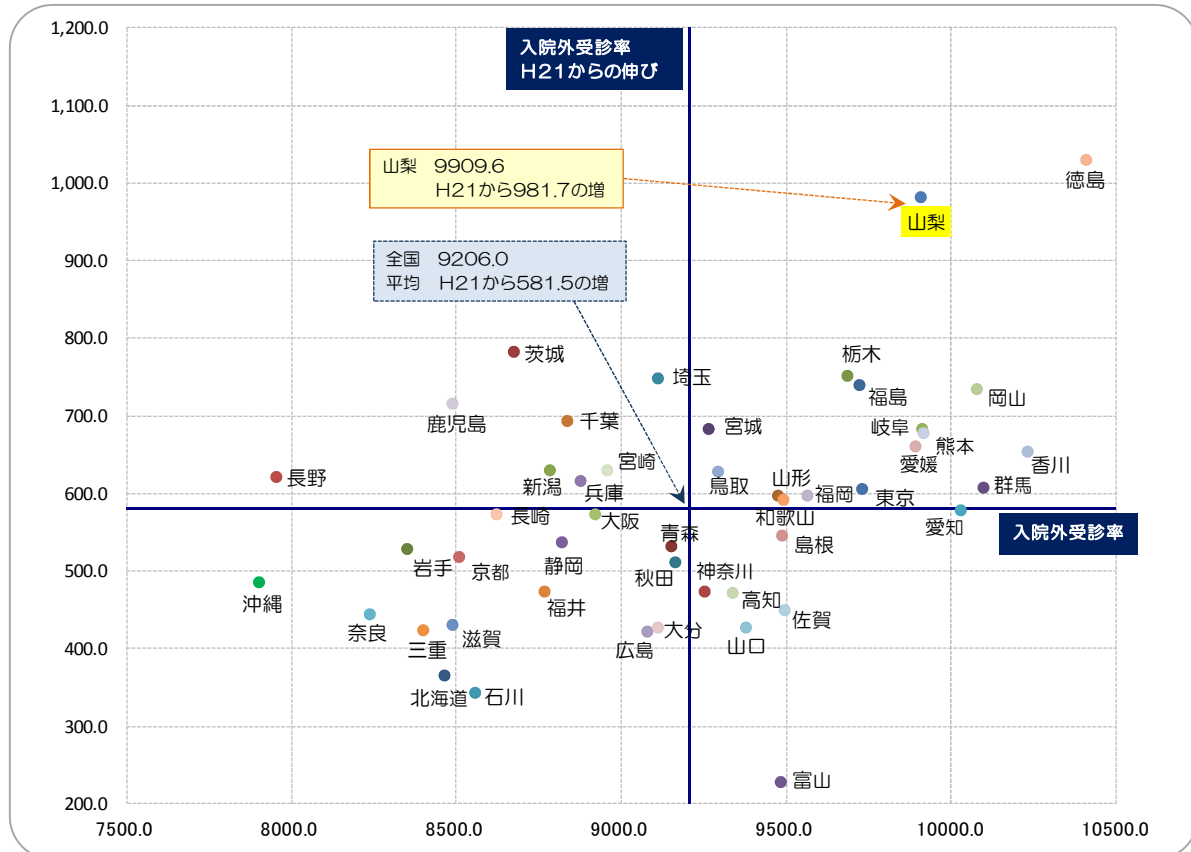
I 平成 23 年度 医療費の状況

5. 0～9歳 受診率とH21年度からの伸び

(1) 入院



(2) 入院外



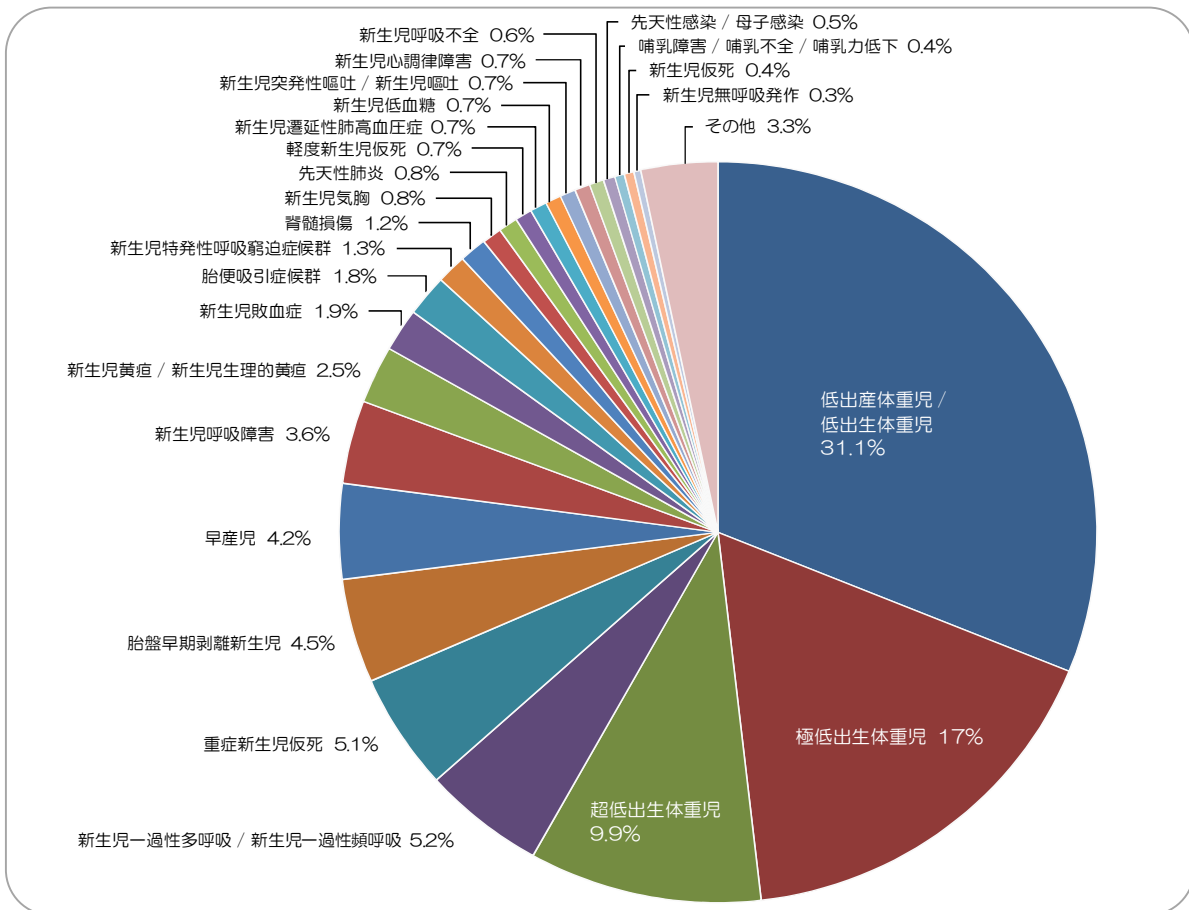
I 平成 23 年度 医療費の状況

6. 0～9歳 入院医療費の高い上位10疾病

傷病名	構成割合	件数		1件当たり医療費	
			増加率		増加率
周産期に発生した病態	31.0%	712	29%	513,282	4%
呼吸器系の疾患	24.4%	1,342	17%	214,219	13%
先天奇形、変形及び染色体異常	12.6%	210	▲7%	704,862	33%
新生物	4.8%	66	65%	856,222	46%
感染症及び寄生虫症	4.0%	250	8%	186,697	4%
神経系の疾患	3.7%	129	21%	336,310	53%
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3.3%	235	22%	165,003	▲1%
損傷、中毒及びその他の外因の影響	3.0%	137	78%	255,736	61%
消化器系の疾患	2.9%	94	▲7%	365,266	30%
筋骨格系及び結合組織の疾患	2.3%	63	13%	432,324	11%

・周産期に発生した病態の内訳

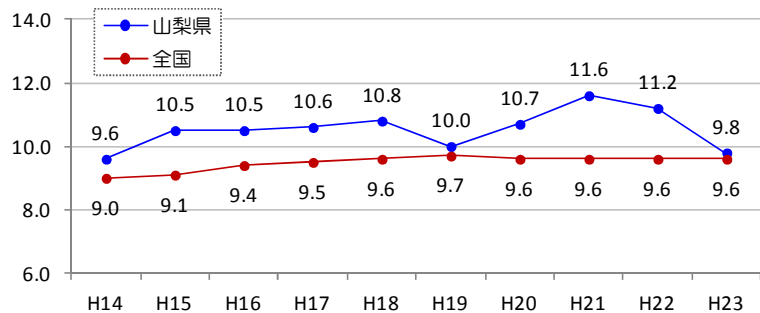
増加率は対平成 21 年度



<参考>

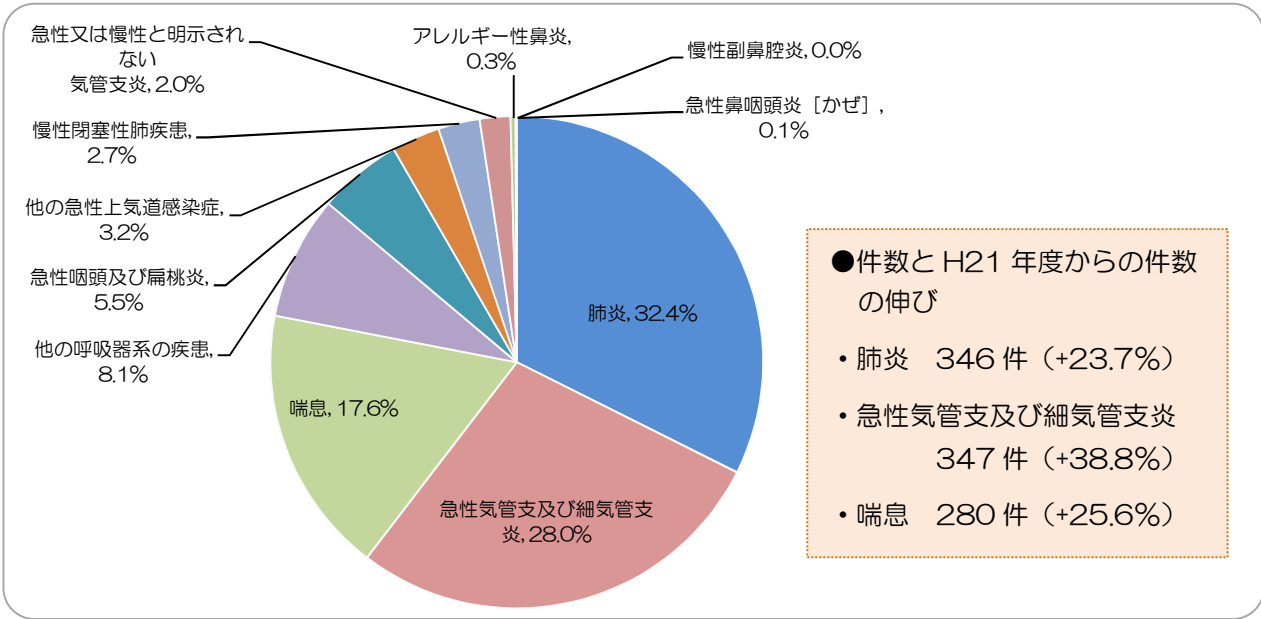
2500 グラム未満の出生割合の推移

厚生労働省 人口動態統計より



I 平成 23 年度 医療費の状況

・呼吸器系の疾患の内訳

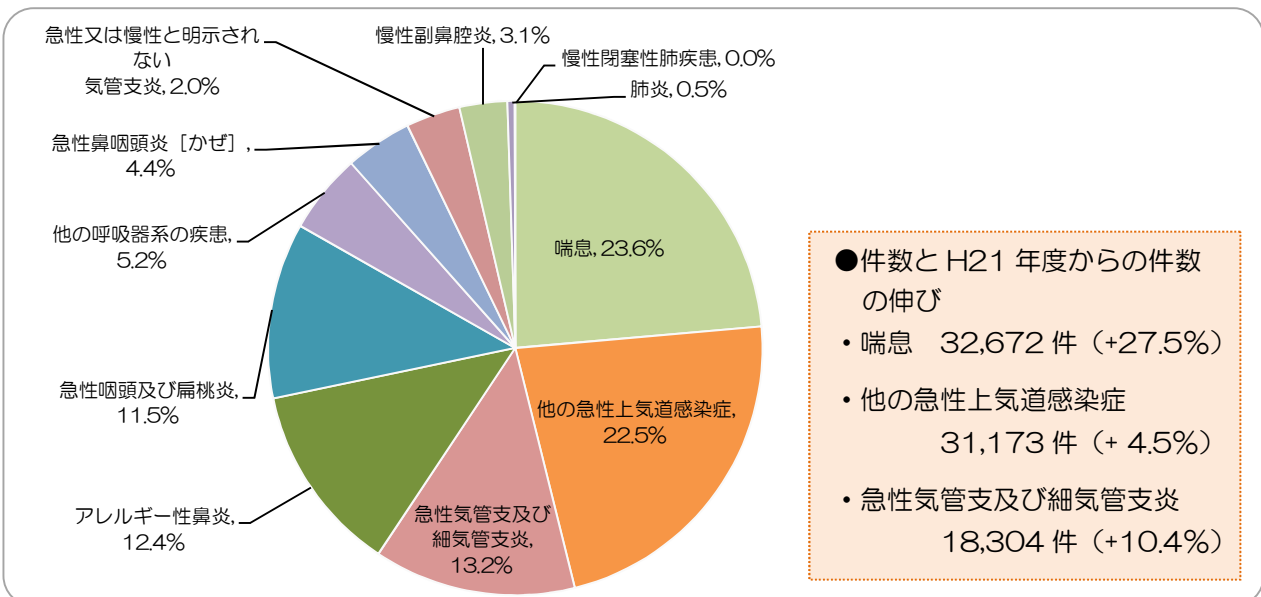


7. 0～9歳 入院外医療費の高い上位10疾病

傷病名	構成割合	件数		1件当たり医療費	
		増加率	増加率		
呼吸器系の疾患	56.5%	138,434	13%	11,809	6%
皮膚及び皮下組織の疾患	11.0%	35,291	26%	8,998	5%
感染症及び寄生虫症	7.8%	24,086	23%	9,398	0%
眼及び付属器の疾患	3.7%	15,547	20%	6,887	▲2%
損傷、中毒及びその他の外因の影響	3.7%	10,155	22%	10,400	▲2%
耳及び乳様突起の疾患	2.8%	8,070	12%	10,052	2%
周産期に発生した病態	2.8%	2,107	51%	38,062	45%
精神及び行動の障害	1.9%	3,442	44%	15,889	9%
先天奇形、変形及び染色体異常	1.8%	2,694	11%	19,298	20%
内分泌、栄養及び代謝疾患	1.7%	1,049	16%	46,272	18%

増加率は対平成 21 年度

・呼吸器系の疾患の内訳

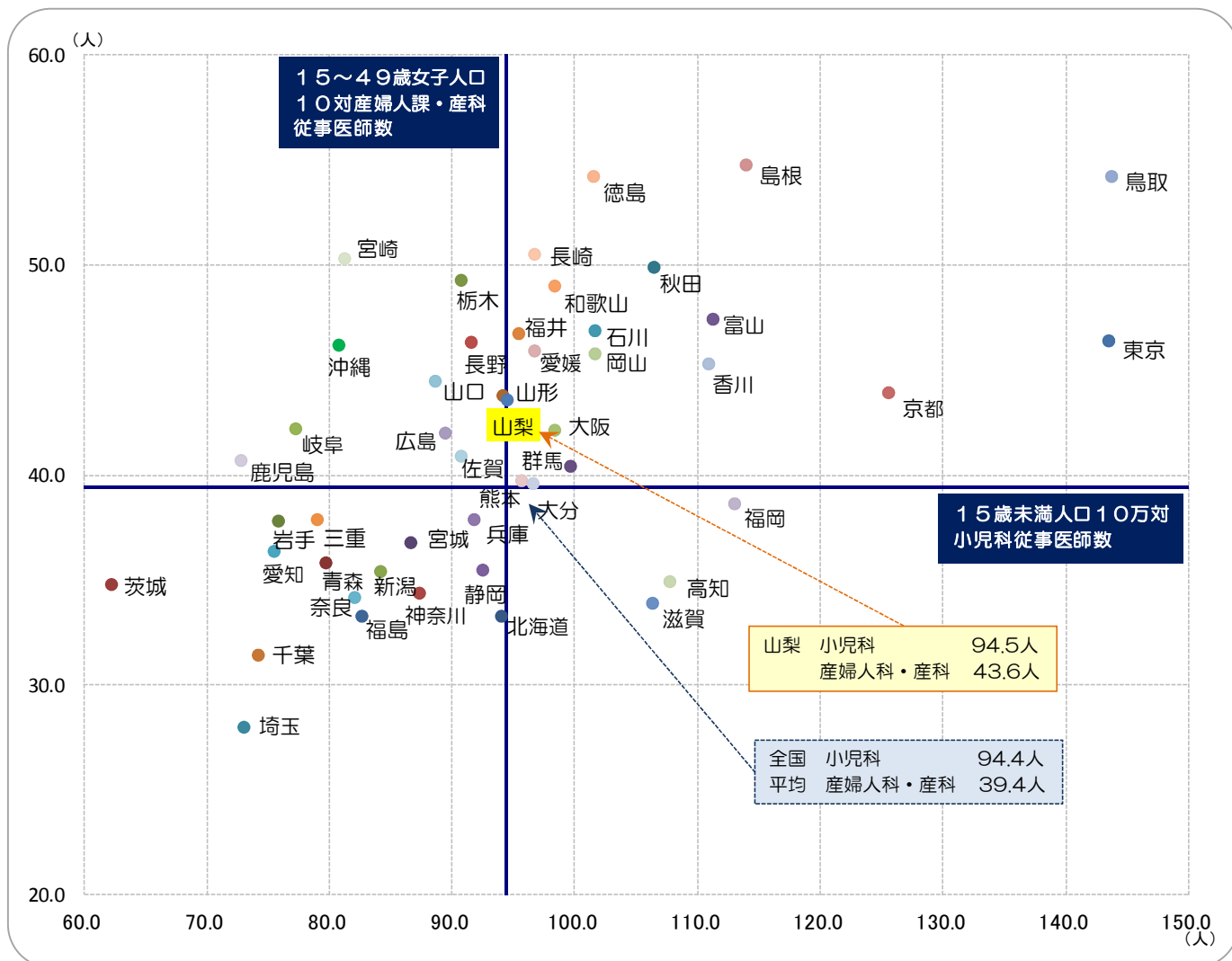


I 平成 23 年度 医療費の状況

医療費の高い疾病の状況

- ・入院 「周産期に発生した病態」(31.0%)と、「呼吸器系の疾患」(24.4%)を合わせると医療費全体の50%を超えており、入院医療費の半分がこの2疾病であった。「周産期に発生した病態」の内訳をみると、低出生体重児に関連する疾病で約6割となっている。また、「呼吸器系の疾患」では、「肺炎」「急性気管支及び細気管支炎」「喘息」の上位3疾病で約8割を占めている。
- ・入院外 「呼吸器系の疾患」(56.5%)が医療費全体の約半分となった。内訳をみると、「喘息」「他の急性上気道感染症」「急性気管支及び細気管支炎」の上位3疾病が約6割を占めた。

7. 小児科、産婦人科・産科従事医師数

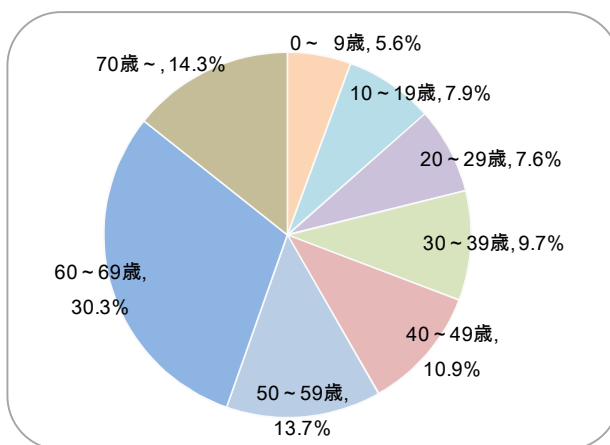


データ：医師・歯科医師・薬剤師調査（平成22年度）

※ カウントは、複数の診療科に従事している場合の主として従事する診療科と、1診療科のみに従事している場合の診療科である。

1. 年齢階級別加入者数

	加入者数	構成割合
総数	260,708	
0～9歳	14,682	5.6%
10～19歳	20,508	7.9%
20～29歳	19,879	7.6%
30～39歳	25,193	9.7%
40～49歳	28,486	10.9%
50～59歳	35,678	13.7%
60～69歳	78,932	30.3%
70歳～	37,350	14.3%

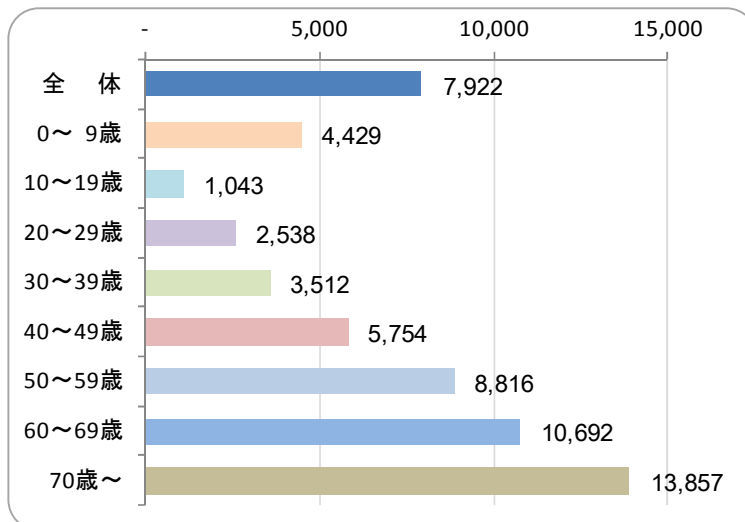


2. 平成23年5月度 年齢階級別医療費

(1) 入院

	総医療費 (百万円)	構成割合	一人当たり 医療費
全体	2,065.3		7,922
0～9歳	65.0	3.1%	4,429
10～19歳	21.4	1.0%	1,043
20～29歳	50.5	2.4%	2,538
30～39歳	88.5	4.3%	3,512
40～49歳	163.9	7.9%	5,754
50～59歳	314.5	15.2%	8,816
60～69歳	843.9	40.9%	10,692
70歳～	517.6	25.1%	13,857

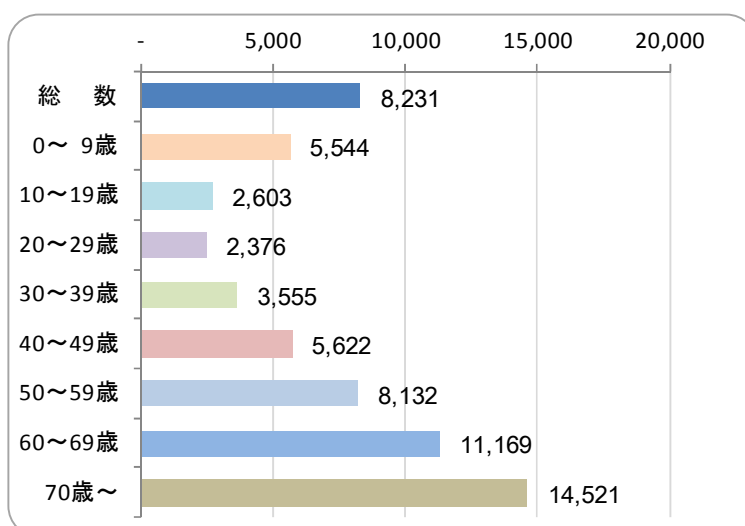
・ 1人当たり医療費 (円)



(2) 入院外

	総医療費 (百万円)	構成割合	一人当たり 医療費
総数	2,145.8		8,231
0～9歳	81.4	3.9%	5,544
10～19歳	53.4	2.6%	2,603
20～29歳	47.2	2.3%	2,376
30～39歳	89.6	4.3%	3,555
40～49歳	160.1	7.8%	5,622
50～59歳	290.1	14.0%	8,132
60～69歳	881.6	42.7%	11,169
70歳～	542.4	26.3%	14,521

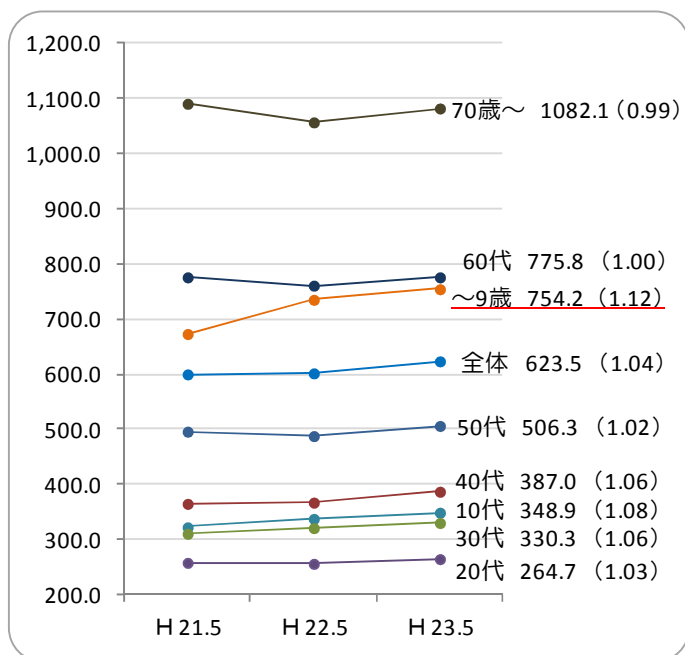
・ 1人当たり医療費 (円)



3. 受診率の推移

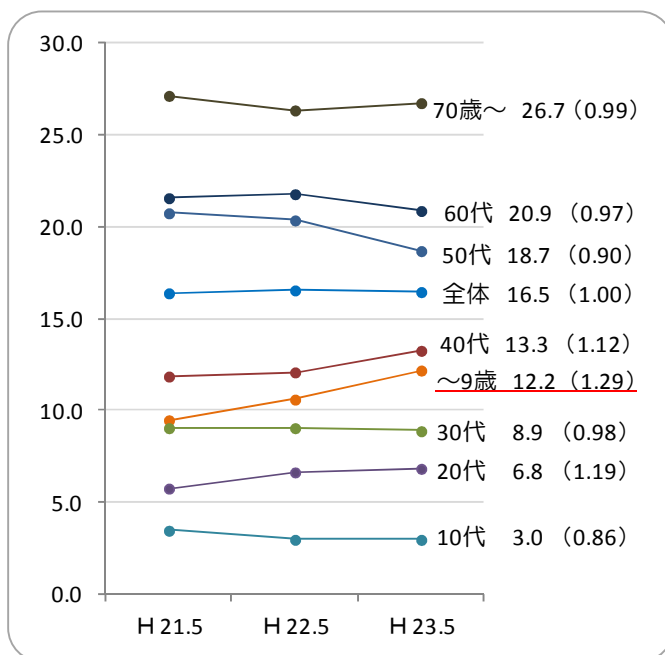
(1) 入院

() 内は対平成21年5月度の指数



(2) 入院外

() 内は対平成21年5月度の指数



4. 医療費の高い上位10疾病（平成23年5月度）

(1) 入院

傷病名	割合
周産期に発生した病態	46.0%
呼吸器系の疾患	19.1%
先天奇形、変形及び染色体異常	5.4%
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構障害	4.3%
新生物	4.0%
神経系の疾患	3.4%
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3.0%
腎尿路生殖器系の疾患	2.6%
感染症及び寄生虫症	2.3%
内分泌、栄養及び代謝疾患	1.8%

(2) 入院外

傷病名	割合
呼吸器系の疾患	49.4%
皮膚及び皮下組織の疾患	9.8%
感染症及び寄生虫症	9.0%
眼及び付属器の疾患	7.1%
損傷、中毒及びその他の外因の影響	5.2%
耳及び乳様突起の疾患	3.8%
精神及び行動の障害	2.9%
内分泌、栄養及び代謝疾患	2.4%
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2.0%
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構障害	1.3%

Ⅱ 医療機関利用に関する意識調査

1. アンケートの概要

(1) 対象

出産育児一時金申請者で育児誌「お医者さんにかかるまでに」を送付した加入者のうち、平成24年2～4月に育児誌を送付した500名

(2) 調査方法

アンケート用紙を郵送発送、返信用封筒にて郵送回収

(3) 調査期間

アンケート用紙発送：平成24年9月24日 回収期限：平成24年10月15日

(4) 調査内容

育児誌の活用状況と医療機関の利用状況について

(5) 回収状況

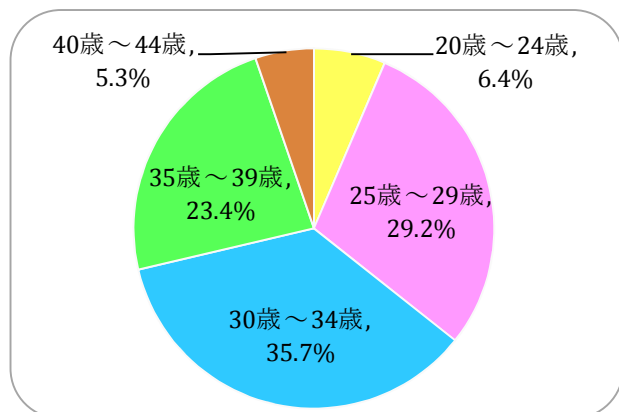
回収数 171件 (34.2%)

2. アンケート結果

(1) 回答者のプロフィール

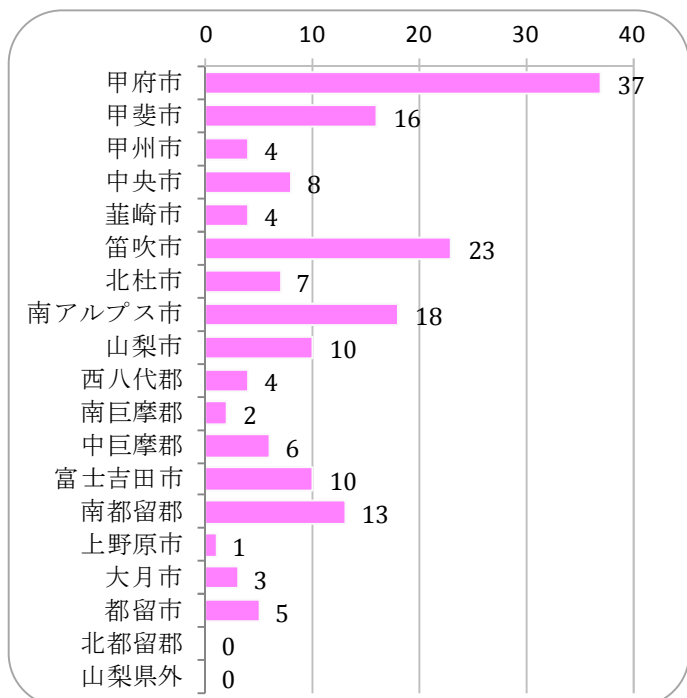
【年齢構成】

年齢階級	回答数	構成比
19歳以下	0	0.0%
20歳～24歳	11	6.4%
25歳～29歳	50	29.2%
30歳～34歳	61	35.7%
35歳～39歳	40	23.4%
40歳～44歳	9	5.3%
45歳以上	0	0.0%



【居住地】

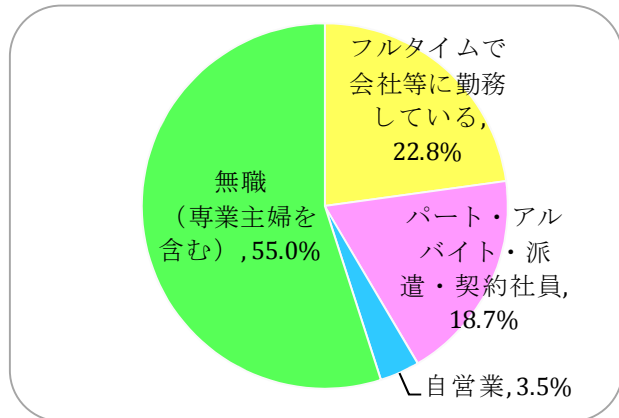
居住地	回答数	構成比
甲府市	37	21.6%
甲斐市	16	9.4%
甲州市	4	2.3%
中央市	8	4.7%
韮崎市	4	2.3%
笛吹市	23	13.5%
北杜市	7	4.1%
南アルプス市	18	10.5%
山梨市	10	5.8%
西八代郡	4	2.3%
南巨摩郡	2	1.2%
中巨摩郡	6	3.5%
富士吉田市	10	5.8%
南都留郡	13	7.6%
上野原市	1	0.6%
大月市	3	1.8%
都留市	5	2.9%
北都留郡	0	0.0%
山梨県外	0	0.0%



Ⅱ 医療機関利用に関する意識調査

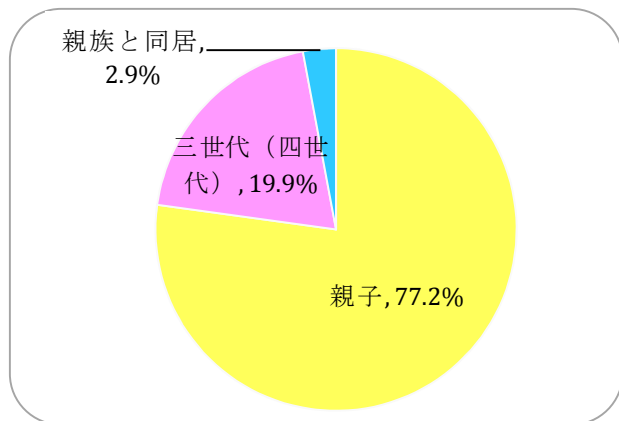
【 就業形態 】

就業形態	回答数	構成比
フルタイムで会社等に勤務している	39	22.8%
パート・アルバイト・派遣・契約社員	32	18.7%
自営業	6	3.5%
無職（専業主婦を含む）	94	55.0%



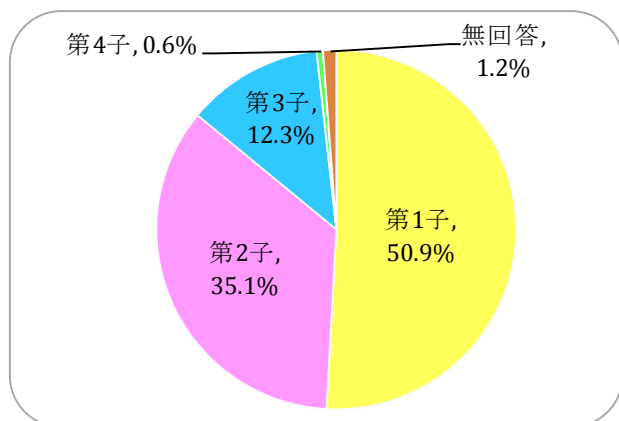
【 家族構成 】

家族構成	回答数	構成比
親子	132	77.2%
三世代（四世代）	34	19.9%
親族と同居	5	2.9%
その他	0	0.0%



【 育児誌を送付した子どもが第何子か 】

第何子	回答数	構成比
第1子	87	50.9%
第2子	60	35.1%
第3子	21	12.3%
第4子	1	0.6%
第5子以降	0	0.0%
無回答	2	1.2%



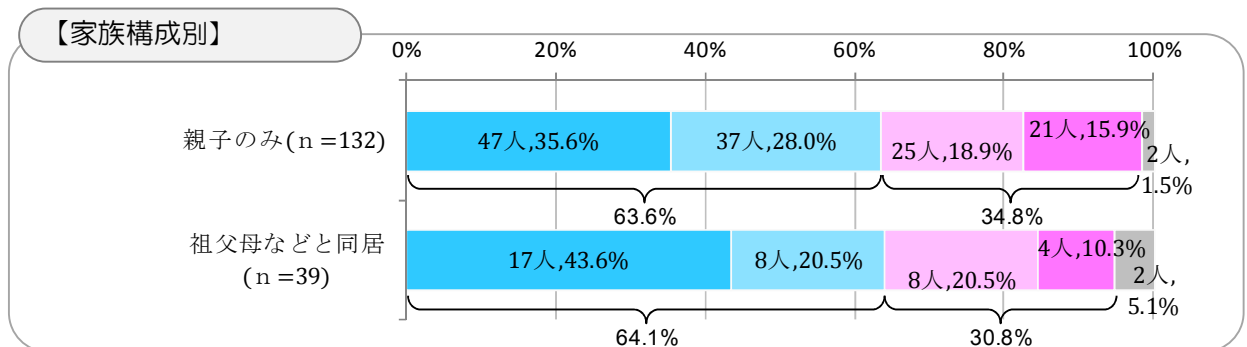
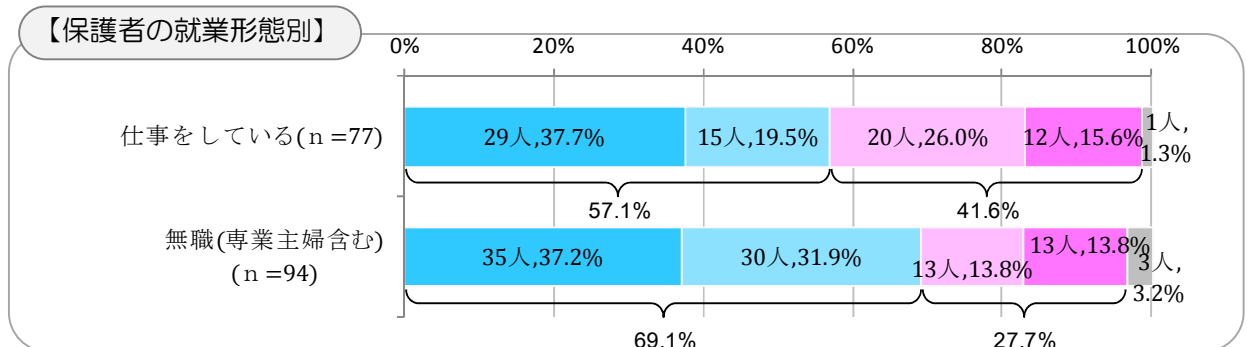
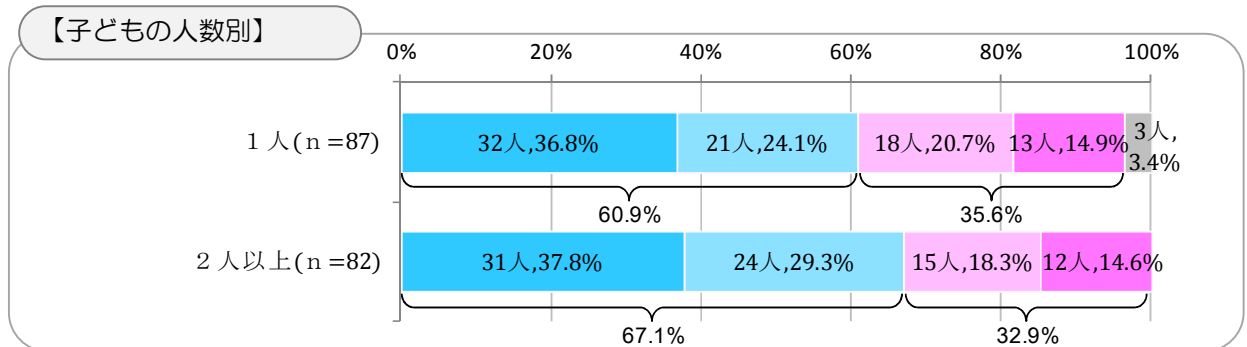
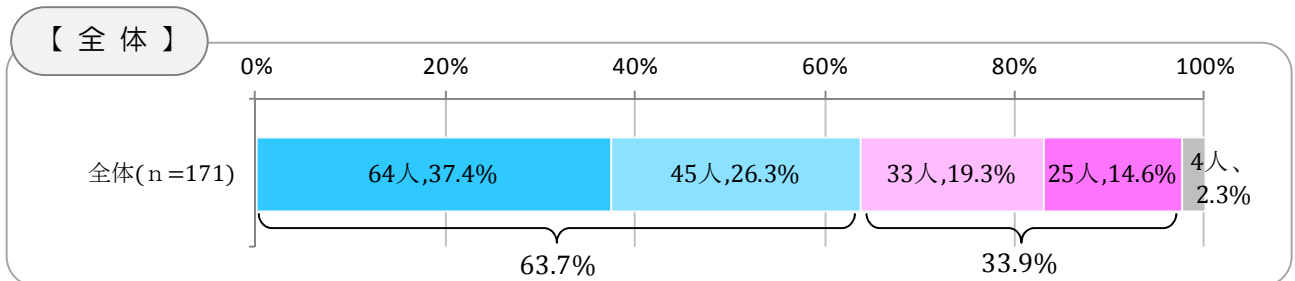
II 医療機関利用に関する意識調査

(2) 子どもが医療機関を受診するときの状況について

A 症状にかかわらず、まずは決まった医療機関で受診することが多い

B 症状に応じて医療機関を選んで受診することが多い

■ Aに近い ■ どちらかといえばAに近い ■ どちらかといえばBに近い ■ Bに近い ■ 無回答



症状に応じた医療機関の選択有無をたずねた結果

- 全体では、症状にかかわらず決まった医療機関を受診するが約 64%となり、症状に応じて受診する約 34%より高い結果となった。
- ケース別では、子どもが 1 人より 2 人以上いる方が、仕事をしているよりも無職（専業主婦含む）の方が、決まった医療機関を受診する割合が高かった。

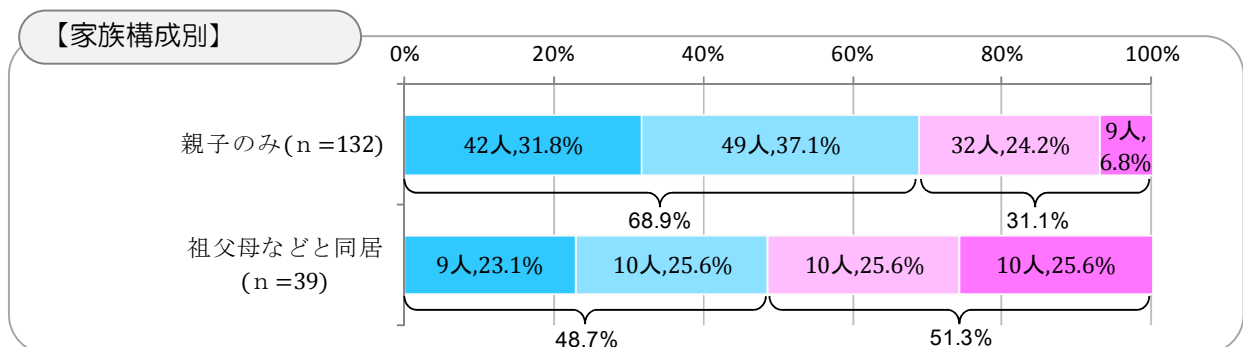
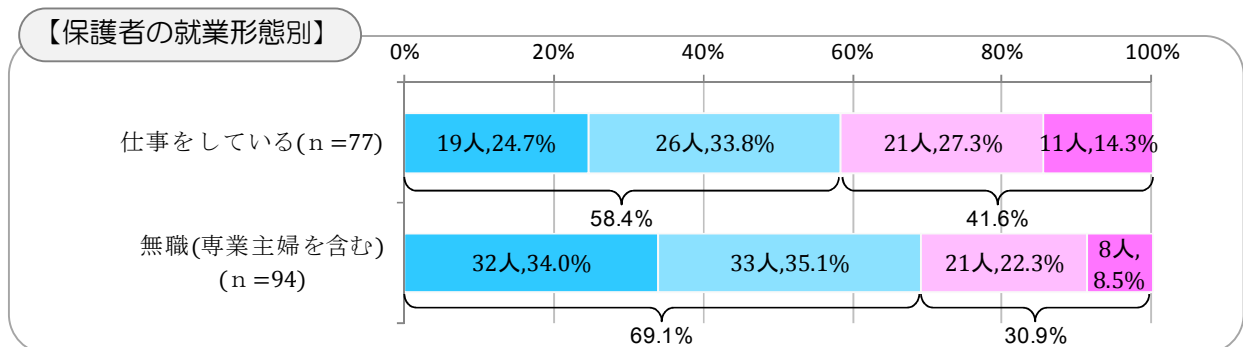
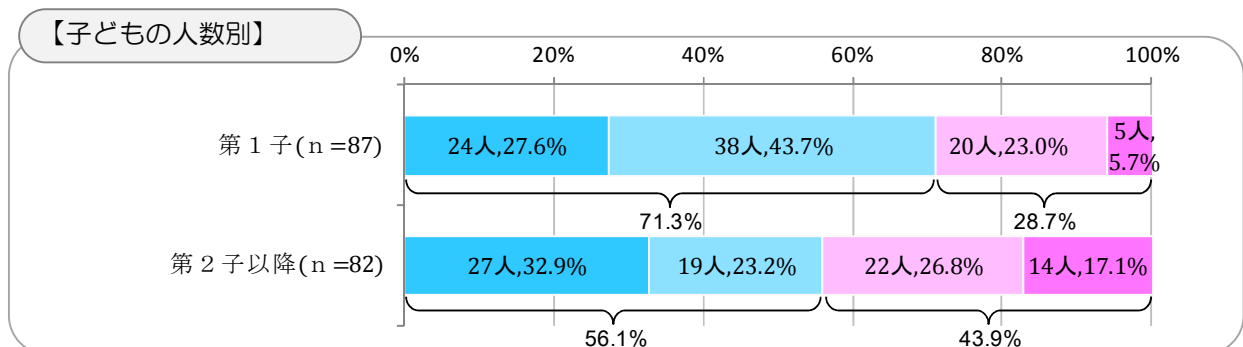
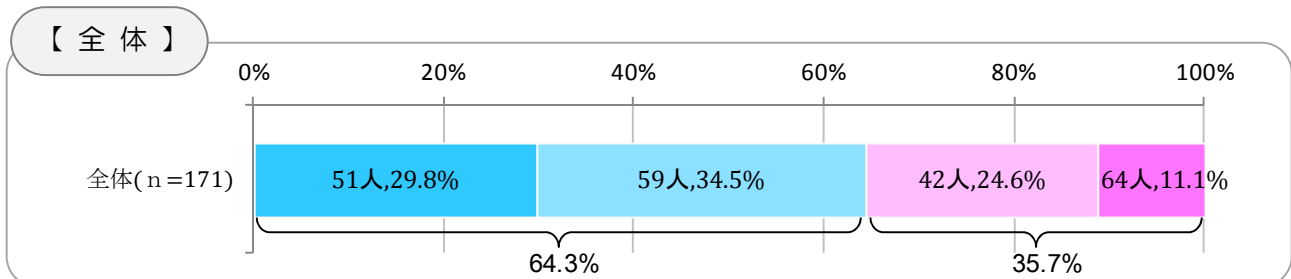
Ⅱ 医療機関利用に関する意識調査

(3) 子どもが医療機関を受診するときの状況について

A 子どもの病気の症状が軽いうちは、自宅で様子を見た後に医療機関を利用する

B 子供の病気の症状が軽くても、早めに医療機関で診てもらおうとしている

■ Aに近い ■ どちらかといえばAに近い ■ どちらかといえばBに近い ■ Bに近い ■ 無回答



症状のレベルを判断しての、医療機関への受診状況をたずねた結果

- 全体では、軽度の場合は自宅で様子を見るが約 64%となり、軽度でも受診する約 36%より高い結果となった。
- ケース別では、子どもが2人以上より1人の方が、仕事をしているより無職（専業主婦含む）の方が、祖父母など同居よりも親子のみの方が、自宅で様子を見る割合が高かった。

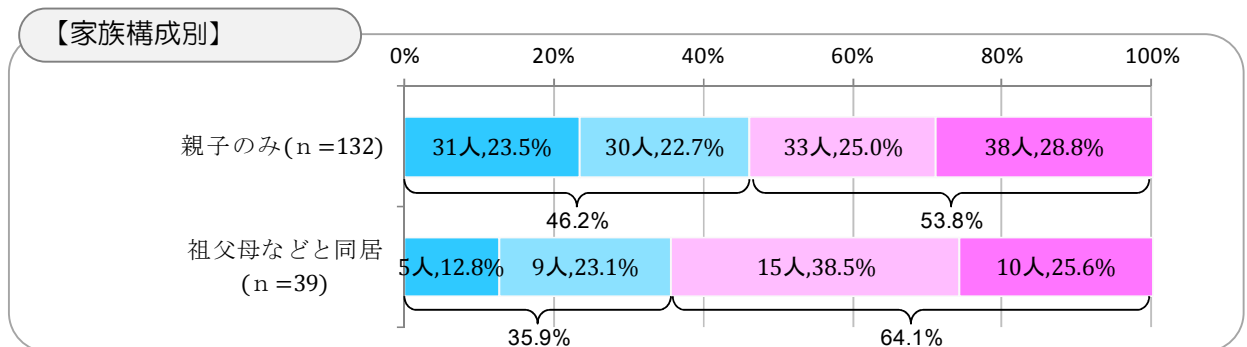
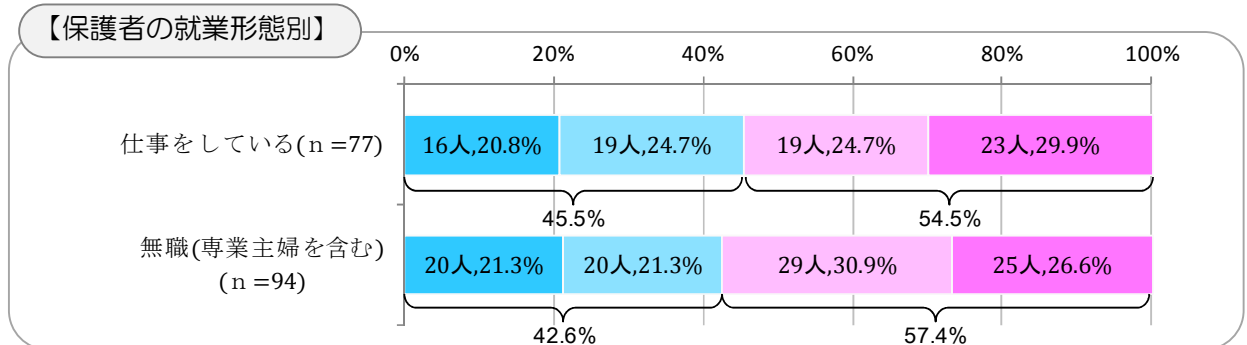
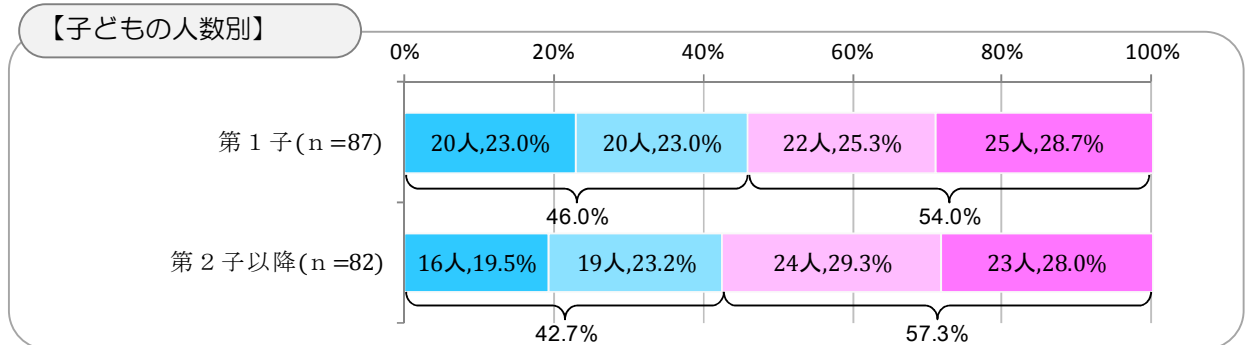
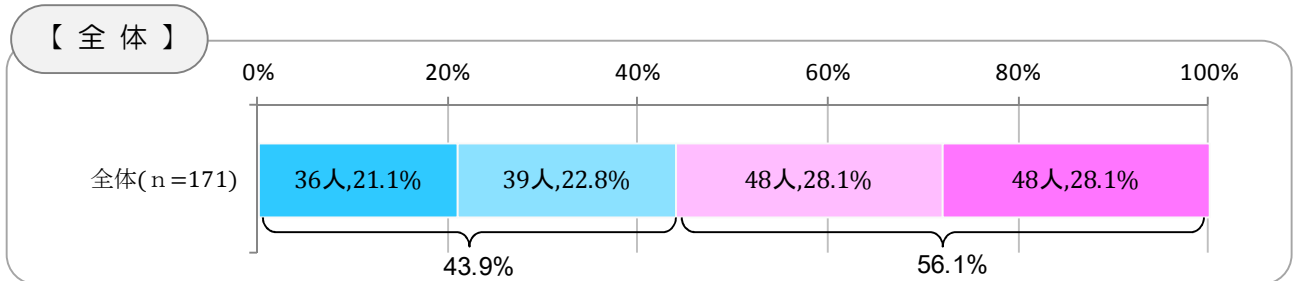
Ⅱ 医療機関利用に関する意識調査

(4) 保険診療の自己負担が窓口で無料となっていることについて

A 医療費は無料だが、気軽に医療機関を利用することはない

B 医療機関は無料なので、気軽に医療機関を利用している

■ Aに近い ■ どちらかといえばAに近い ■ どちらかといえばBに近い ■ Bに近い ■ 無回答



窓口負担が無料であることでの医療機関への受診状況をたずねた結果

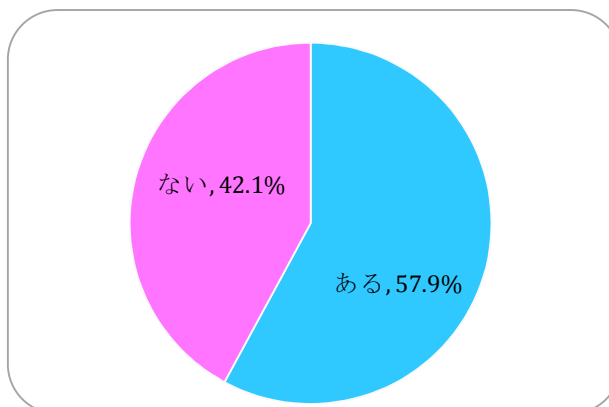
- 全体では、無料なので気軽に医療機関を利用するが約56%となり、無料を理由に気軽には利用しない約44%より高い結果となった。
- ケース別では、特に、親子のみ祖父母など同居の方が、気軽に利用する割合が高かった。

Ⅱ 医療機関利用に関する意識調査

(5) 救急医療機関への受診について

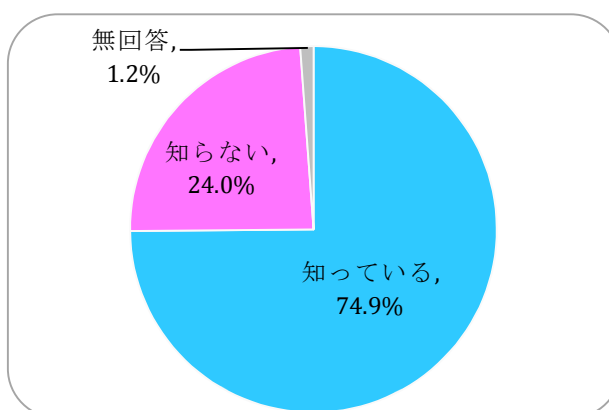
【 受診経験 】

	回答数	構成比
ある	99	57.9%
ない	72	42.1%
無回答	0	0.0%



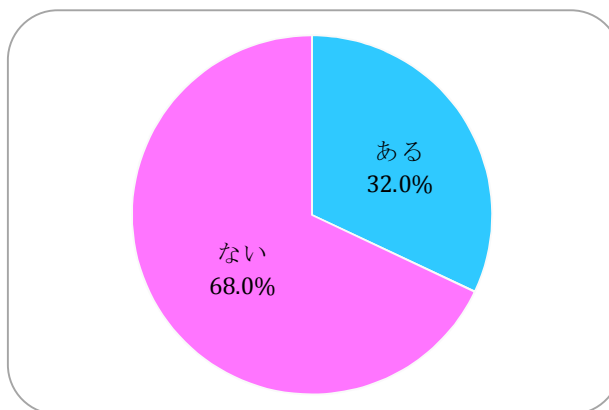
【 小児救急電話相談（#8000）の認識 】

	回答数	構成比
知っている	128	74.9%
知らない	41	24.0%
無回答	2	1.2%



【 小児救急電話相談（#8000）を知っている 128 人の利用経験 】

	回答数	構成比
ある	41	32.0%
ない	87	68.0%



小児救急電話相談（#8000）を知っている割合は約 75%と高い結果となったが、実際利用した経験のあるのは、知っている方のうちの 32%であった。

山梨では小児救急電話相談の運営は夜 7 時～11 時となっており、回答者からは受付時間の周知や受付時間の拡大を望む意見があった。